

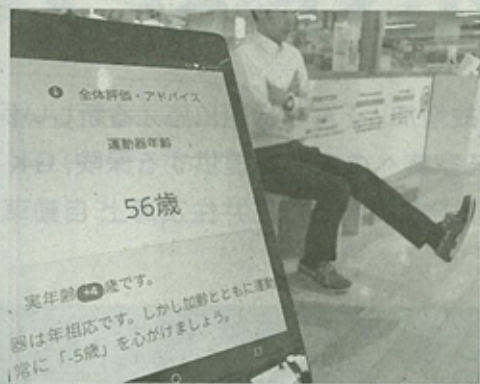
# 健康データ測定 整骨院で

## ダイヤ工業のシステム

コルセットやサポーターの製造・販売を手掛けるダイヤ工業(岡山市)は接骨院や整骨院向けに筋肉や関節など体の運動器をチェックするシステムを本格展開する。病院で実施する例はあるが間口を広げて自宅でのトレーニングを促し、健康寿命を延ばしたり介護予防をしたりするニーズを取り込む。2021年3月期までに1000の接骨院・整骨院で採用をめざす。

筋力や柔軟性で独自指標

病院以外のニーズに的



11項目からチェックメニューを構成。測定には一部の同社製品を除き、握力計や前屈測定器など汎用の機器を使う。インターネット環境を整備する必要があり、導入費用は一式20万円程度。ダイヤ工業にシステム利用料として月3000円を負担する。

測定結果を接骨院などがパソコンで入力すると、すぐに筋力や柔軟性、敏しょう性などの要素を組み合わせたオリジナルの「運動器年齢」という指標を明示。移動機能の低下を示すロコモ度、加齢による筋肉量の低下を示すサルコペニア度なども併せて示す。同時に、

全70種類の中から自宅ですぐにできる利用者に適したトレーニングメニューを4種類例示する。利用者は測定のみの場合1回5000円、院長からの指導料込みの場合15000円を支払う。データは利用者のパソコンやスマートフォン(スマホ)で閲覧でき、3ヵ月から半年ごとに実施して改善度合いを確認することが可能。利用者がトレーニングメニューをきちんとこなしているか、院長がチェックすること

▼接骨院・整骨院 国家資格の「柔道整復師」の所持者が骨や筋肉などへの施術をする場所。骨折、脱臼や打撲、捻挫といった「外傷性のけが」への施術は保険の対象になる。ただし骨折と脱臼の施術にはあらかじめ医師の同意が必要になる。

厚生労働省によると、施術所数は2016年末時点で約4万8000カ所に上る。

すぐにスマホやタブレットで結果を確認できる。

もできる。

ダイヤ工業は全国の接骨院・整骨院のうち、2万5000カ所程度と取引がある。17年6月に事業を開始し、これまでに20カ所にシステムを導入。18年春までに100カ所、21年3月期までに1000カ所に増やす目標だ。

接骨院・整骨院を地域

での健康づくりの拠点と付けにつながれば」とし位置付け、院長に運動器の機能訓練指導員としての役割を期待する。

松尾正男社長は「運動機能の改善・向上の意識

展開も見据えている。

ダイヤ工業は接骨院・整骨院向けのコルセットやサポーターで国内トップのシェアを持つ。17年3月期の売上高は37億5000万円。